

## 令和5年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、令和5年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

現在国においては、次元の異なる少子化対策の実現のため、本年6月に「こども未来戦略方針」を決定し、「若い世代の所得を増やす」「社会全体の構造・意識を変える」「すべてのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」の3つを基本理念として掲げており、具体的な施策として児童手当の増額や、育児休業手当の増額等が示されています。

本市においてはすでに少子化・子育て支援策として、「子育て楽しむならせとうち」を掲げ、令和3年度から、出産・子育て費用の補助、また高校生までの医療費の無償化、育児用品購入補助等、13種類の独自施策を実施しています。この取組の効果や民間の宅地開発の影響もあり、近年子育て世代の転入者が増加しています。

一方で、国の基準での待機児童数は少数であるものの、希望する保育園に入ることができない子どもは増加しています。また、放課後児童クラブは、すでに定員数に達しているクラブも出てきています。

このため、現在新たな保育施設や放課後児童クラブの整備について検討を進めています。

本市では、今後も子育て世代に選ばれるまちを目指して、保育施設等の施設整備を進めるとともに、国の施策では手の届かない、子育て世代が希望するきめ細かいサービスを提供していきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

#### ○ 複合施設「ゆめトピア長船」の設置について

現在改修中のゆめトピア長船を、長船町公民館、長船図書館及び文化センターで構成する複合施設として設置します。複合施設とすることで、社会教育法により制限されていた施設利用が可能となります。

構成施設相互の連携を図り、市民の福祉増進、教育及び文化の発展に努めます。なお、関連する条例を今議会に提出しています。

#### ○ 市民活動団体等に対する新たな支援策について

今年度モデル事業として、ふるさと納税の仕組みを活用し、市内で公益性の高い活動に取り組んでいただいている団体の皆さんが主体的に自らの活動資金集めに関与できる制度を開始します。

この制度により、寄附者は、支援したい団体を直接支援できることになり、ふるさと瀬戸内市の活性化や課題解決に向けた取組の実現につながること

になると考えています。

今後、説明会を実施し、来年度当初からの寄附受付開始を目指す予定として  
います。

#### ○ ゼロカーボン施策について

本市は、ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた脱炭素の取組を効果的  
に行うため、環境省の交付金事業である重点対策加速化事業と脱炭素先行  
地域づくり事業に取り組んでいます。

重点対策加速化事業については、一般家庭への太陽光発電設備や蓄電池、  
電気自動車等の導入に係る補助金交付申請の受付を6月から開始していま  
す。申請受付の件数は、10月末現在、太陽光発電設備100件、蓄電池7  
6件です。

また、脱炭素先行地域づくり事業では、市内の再生可能エネルギーの普及  
と電気エネルギーの地産地消を進めるため、地域電力会社の設立準備を進  
めています。

このたび、地域電力会社の事業計画の事業採算性や実現可能性の検証を  
終えたことから、来年1月末の会社設立を目指し、市の出資金を今議会の補  
正予算に計上しています。

#### ○ 新火葬場整備について

新火葬場整備事業については、火葬場敷地造成に係る土木工事（第3期）として、現在、道路舗装や造成の仕上げ工事を進めています。令和5年10月末時点の進捗率は67.0%となっています。岡山ブルーラインの交通安全確保のための交通規制の増加等により、遅れが生じています。これにより、土木工事の工期延長が必要となるため、今議会に変更契約の議案を提出しています。

建築工事の関係では実施設計が概ね完成しており、現在、建築確認の審査手続きに入っています。

全体のスケジュールに影響が出ないように、土木工事と建築工事の施工調整を行っています。

また、火葬場の設置及び管理に関して必要な事項を定めた瀬戸内市営火葬場条例の改正案を今議会に提出しています。

#### ○ 人と猫が幸せにくらせるまちづくりについて

飼い主のいない猫の不妊去勢手術を進めることにより、無秩序な繁殖や、猫による糞尿被害などのトラブルを予防して、地域と飼い主のいない猫の共生を図るため、本市では、飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術に対する補助金を交付しています。

これまで多くの自治会やコミュニティが、地域猫活動として取組んでおり、令和4年度は303匹、今年度は10月末時点で195匹分の不妊去勢

手術費用を助成しています。

この取組により、飼い主のいない猫に関するトラブルも大きく減少しており、これまで実施されていない地域にも広がりつつあります。

来年度以降も、この取組を続けていくために、10月から4回目のクラウドファンディングを実施しています。

実施期間を令和6年1月27日までとしていますので、ご協力をお願いします。

#### ○ 観光振興に関する岡山市との連携事業について

昨年度から実施している岡山市との連携事業では、両市の観光資源を活かした観光振興等を進めており、宇喜多家をテーマにした事業では、ゆかりの地を巡るデジタルスタンプラリーや冊子の作成、岡山城でのイベント出展などを行いました。さらに、岡山市が宇喜多直家公などを主人公とする大河ドラマを誘致する目的で本年11月12日に設立した「戦国 宇喜多家を顕彰する会～大河ドラマ誘致をめざして～」に本市も参画し、宇喜多家の顕彰を通じて、郷土の誇りを醸成するとともに、当連携事業を通じて本市の魅力を全国に発信していきます。

#### ○ 備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館について

備前長船刀剣博物館では、11月25日から、平成29年度以降に新たに

収蔵された作品を展示する「新収蔵品展」を開催しています。展覧会では、12月27日まで国宝「山鳥毛」を公開し、その後、来年1月6日から2月4日までは、今年度に新たに購入した「太刀 銘 景秀」を公開する予定です。また、福岡一文字派や長船派の優品等を通じて、日本刀の聖地・長船の優れた刀剣製作技術や現在の刀剣を取り巻く動向などの周知を図っています。

瀬戸内市立美術館では、10月24日から世界的な糸操り人形師・竹田喜之助氏の生誕100年を記念した「生誕100年記念 竹田喜之助人形展」を開催しています。約90体の人形や製作道具等を展示し、喜之助氏が独自の技術や素材を用いて仕掛けの小型化を実現するなど、それまでになかった新たな造形美を作り上げ、世界で活躍したことなどの周知を図っています。

#### ○ おかやま教育週間について

岡山県では、学校、家庭、地域が一体となって「地域の子どもは地域が育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。本市では、おかやま教育週間にあわせて、10月から11月にかけて、授業参観に加え、文化祭や学習発表会などの学校公開を行っています。

また、キャリア教育実践の場として、中学生が、地域へ出て職場体験をする活動も行っています。職場体験活動を通して、地域の方とも一体となって、子どもたちの学びをより豊かなものにすることができています。

## ○不登校の児童生徒への対応について

10月17日に、令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策について、文部科学省から通知がありました。国公立、私立の小・中学校の不登校児童生徒数、学校内外で相談を受けていない児童生徒数、90日以上欠席している児童生徒数がいずれも過去最多でした。本市では、令和3年度と比較して4年度は、小学校でわずかに減少、中学校ではほぼ同等の出現率でした。

また、同通知では、不安や悩みを相談できない子どもたちがいる可能性や、子どもたちの不安や悩みが従来とは異なる形で現れたり、一人で抱え込んだりする可能性等も考慮し、引き続き、周囲の大人が子どもたちのSOSを受け止め、組織的な対応を行い、外部の関係機関等とも積極的に連携して対処するなどのきめ細かな対応が示されています。児童生徒が不登校になったとき、大きな悩みや不安を抱える保護者への支援も重要であり、将来の瀬戸内市を担う子どもたちの社会的な自立をめざし、保護者も含めて支える体制づくりに真摯に取り組んでいきます。

## ○女子野球タウン認定について

本年9月に女子野球タウンの認定申請書を提出し、一般社団法人全日本女子野球連盟の審査を経て、10月に岡山県内で初となる女子野球タウン

の認定を受けました。今後は、女子野球を通じてまちの魅力・地域資源等を広く市内外にPRするとともに、本市を拠点に活動する女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」と協力して、スポーツ分野に限らず、市内の様々な団体等と連携する企画を展開し、地域活性化に取り組んでいきます。

#### ○ 公民館活動について

県下でも広く知られている第37回備前長船菊花展が、10月17日から11月16日まで長船町公民館で開催されました。

会期途中の10月27日に発生した突風により、4日間閉鎖しましたが、756鉢が展示され、端正な花が咲き誇り、会場に訪れた方々に心の豊かさと感動を味わっていただくことができました。

実行委員会が企画・運営する瀬戸内市文化祭が牛窓町公民館を皮切りに中央公民館及び長船町公民館で開催されました。公民館で日頃活動されている方々の学習成果が披露されました。なお、現在の場所での開催が最後となる長船町公民館では、今回はステージ発表のみを行い、改めて「ありがとう！長船町公民館」として、市民創作展を3月に1週間の会期を設けて行う予定です。

#### ○ 図書館について

「もちより・みつけ・わけあう広場」を楽しむ図書館イベント「もみわ祭」



を、2年ぶりに11月3日（金）から12月16日（土）までの期間で開催しています。

11月は、瀬戸内市の歴史に焦点をあて、「『備前軍記』から見る瀬戸内市の戦国時代を読み解く」と題した講演会や、図書館友の会が作った「瀬戸内歴史クイズかるた」を使ったかるた取り大会を実施しました。12月には、昭和6年から発行され続ける、国立ハンセン病療養所・長島愛生園の機関紙「愛生」を読む会、市内在住のアーティスト、ラデック・プレディギエル氏による、邑久高校美術部生徒とともに2年間かけて完成させた体育館南面の壁画についての講演、邑久高校吹奏楽部による図書館ロビーでのミニコンサート、児童文学作家の八束澄子氏による「児童文学のしあわせ」と題した講演など、瀬戸内市の文化・芸術や本に焦点を当てた多彩な催しを計画しています。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、人事1件、条例21件、補正予算12件、その他7件、計41件です。

よろしくご審議をいただき、適切にご決定をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。

令和5年11月27日

瀬戸内市長 武久 顕也